

（事業者向け）放課後等デイサービス自己評価表

公表：平成31年3月1日

事業所名 COMPASS発達支援センター 大野城

チェック項目			はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			言語療育を主としており、療育に必要な設備が設置できるスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			人数だけでなく、専門性についても、教員免許を持つ児童指導員を配置し、学習面での強化を図っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			段差がなく車椅子でも移動するには問題ない配慮した環境になっています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	○			常勤、非常勤問わず会議に参加し、現状の把握と今後の方針を検討しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			定期的にアンケートによる評価を実施、さらにご相談があった場合は都度職員へ周知し、業務が遂行できるよう努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて掲載しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者による評価は実施していないため、今後の検討材料と致します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年度末に次年度1年間の職員研修計画を策定し、1ヶ月～2ヶ月に1回の頻度で、療育、虐待防止、安全、衛生、防災等に関する研修を行っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用児童が通っている学校を訪問し、情報交換を行ったうえで、個々の特性に合ったサービス計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			面接、モニタリング時に統一されたチェックシートで状態を把握し保護者の意向も確認しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎朝のミーティングのほかにも、必要に応じて立案のための会議を行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			それぞれの利用児童の発達段階に合わせた療育プログラムを提供しています。また、プログラムは固定化しないよう、リトミックや体幹トレーニング、ソーシャル・スキル・トレーニング、ゲームなど組み入れています。これらの活動内容は、毎月発行しているお便りを通して、紹介しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			学習支援を優先して行っていますが、休日、長期休暇のみならず、平日でも利用児童の様子を見ながら、オリジナル教材を使用したり、ゲームやリトミック、体幹トレーニングなどを取り入れたりなどして、利用児童にとって有益かつ気分転換になるプログラムを提供しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			1～2人の少人数療育を基本としていますが、音楽、本の読み聞かせ、英語、製作活動など、集団活動取り入れ、バランスを取っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝のミーティングの中で、欠かさず行っています。

適切な支援の提供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		必ずその日の療育状況を児童発達支援管理責任者または管理者に報告し、重要事項については当人を通して全職員に周知するようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎回記録を書き、その中で児童に変化があった内容は共有するようにしています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的（6ヶ月以内）にモニタリングを行い、現状の把握を行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○		統一した支援が出来るよう努めています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		担当者会議には利用児童の状況を一番把握している児童発達支援管理責任者が参加しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		毎週金曜日に次週の時間割をコピーするなど、学校での詳細予定を把握するようにしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		現在、医療的ケアが必要な児童の受け入れはありませんが、協力医療機関も徒歩圏内と近いため、支援体制は整っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		大半の児童は就学前から利用しており、状況の把握ができていますので早期改善に繋がると考えています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		現在までに卒業した児童はいませんが、進路については保護者様と相談を行い、対象者が出た場合には移行先への情報提供ができる体制は整っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		スタッフ研修として専門機関での講習を受け、他職員に周知しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		月1回のイベントの際には、近隣住民や公民館などにお知らせし、ご招待しています。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		定期的に参加し、電話連絡をしています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳だけでなく、利用児童の送迎時等の機会を利用して、保護者様とコミュニケーションを取り、重要事項について共通認識を持つよう努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		連絡帳や保護者会などを利用してペアレント・トレーニングに関するご提案をしております。さらに詳細なプログラムをご希望の方にはご指導の場を設けるなどして支援してまいります。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明は毎回丁寧に行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		半年に1度の面談のほか、日々の送迎時や連絡帳などを通じて保護者様のお悩みを聞き取り、適宜助言と支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者会の開催のほかにも、イベント等を通じて保護者同士の交流や意見交換の場を設けるよう努めています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		保護者様からの相談や苦情受付の窓口を児童発達支援管理責任者、又は管理者に1本化することで、誤解や誤認識を防いでいます。その後、全職員を集めた会議の場を設け、事実確認等を行った上で最善策を検討する等、迅速かつ適切な対応を図っています。

保護者への説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			基本的に月1回、お便りを発行しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報に関する書類については、鍵付きキャビネットにて保管し、取扱いに十分注意しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			相談窓口をサービスの責任者である児童発達支援管理責任者にし、保護者様からの相談に適切なご提案ができるようにしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			イベント開催時には、近隣住民や公民館等にお声掛けをしています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			新規でご利用になる保護者様だけでなく、既にお知らせしている方に対しても、再度、当該マニュアル等の周知・説明を行っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			災害時避難訓練については、利用児童たちを実際に避難場所まで誘導したり、紙芝居等を利用したりして適宜行っています。こうした活動内容については、お便り等を通じて、保護者様にお伝えしていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			事業所内での研修のみならず、県等が主催する研修にも参加し、その内容を職員全体で共有しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており、やむを得ず身体拘束を行う場合はあらかじめ文書により保護者の方の同意を得ることとしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギーについては保護者様から情報をご提供頂き、全職員に周知し、常に慎重に対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット報告書は全職員が確認しています。